

地域再生計画

- 1 地域再生計画の名称
ふるさと「八ヶ岳」観光ルート再生計画
- 2 地域再生計画の作成主体の名称
長野県、南佐久郡小海町及び南牧村
- 3 地域再生計画の区域
長野県南佐久郡小海町及び南牧村の全域

4 地域再生計画の目標

小海町及び南牧村は、長野県の東部に位置し、人口 9,324 人、(平成 17 年 4 月 1 日現在) 面積 247.29Km² で南北に流れる千曲川に沿って、帯状の平坦地が形成され、ここを JR 小海線、国道 141 号線がそれぞれ走っている。標高は 800 ~ 1,500m で、冷涼な気候を生かした高原野菜が生産され、特に南牧村では全国でも有数の野菜団地を形成している。

両町村の西側に当たる八ヶ岳山麓地帯は観光拠点が点在し、豊かな大地と自然を求め、毎年多くの観光客が訪れ、農林業と観光が両町村の基盤産業となっている。

しかし、近年の木材価格の低迷から森林の整備が遅れ、荒廃森林が目立ち観光誘致の売りである豊かな自然景観が阻害されると同時に、観光客の減少も顕著となり、地域住民の生活環境悪化も懸念され始めている。

かつて、夏は目的に応じた観光地として、冬はスキー・スケート等のウィンタースポーツで年間を通じ多くの人を訪れていたので、再生する上では次の主な課題を解決しなければならない。

アクセス道路の改善

豊かな森林景観の回復(間伐等の推進)

安全で走行が容易な観光ルートの確保

このため、本計画により道路及び林道の効率的整備を行い各地に点在する観光拠点のアクセスを改善し、交通ネットワークの整備を図りつつ豊かな自然環境を併せ整備し、もって地域の活性化に繋げていくこととする。

(具体的な目標値)

目標内容(年間)	現状値	目標値	伸び率	備考
観光客数	232千人	243千人	5%	現状値は平成14年～平成16年の平均
森林整備面積 (間伐面積)	398ha	418ha	5%	〃

5 目標を達成するために行う事業

(5-1) 全体の概要

「林道八ヶ岳線」(千曲川上流地域森林計画記載路線)は八ヶ岳山麓を南北に結ぶ唯一の道路で、小海町の主な観光拠点である本沢温泉、稲子の湯、小海リエックス等と南牧村の一大観光地である野辺山高原を結んでいる。

この「林道八ヶ岳線」を整備することで、両町村の観光拠点の移動を自然景観の醍醐味を楽しみながら安全かつスムーズに行うことが可能となる。

また、森林へのアクセスを容易にし、森林施業の効率化を図るとともに、災害時には国道141号線の代替路線の役割を担う。

小海町の「稲子白駒線」(道路認定路線)の町道は、国道141線から小海町の観光拠点を東西に結ぶ幹線道路であり、この改良事業を行うことでアクセスを容易にし、国道・町道・林道による効率的な道路ネットワークを構築することとする。

加えて、このルート及び自然環境を活用し、各種ボランティア活動やイベント及びグリーンツーリズム活動等を通し、都市部との交流事業にもウエイトをおき、これら他事業と本事業を有機的に組み合わせ魅力ある地域形成を図る。

(5-2) 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

道整備交付金を活用する事業

[施設の種類(事業区域)、事業主体]

- ・市町村道(小海町) 小海町
- ・林道(小海町、南牧村) 小海町、南牧村

[事業期間]

- ・市町村道 平成19年度 小海町
- ・林道 平成17年度 小海町、南牧村

[整備量]

- ・町道(小海町)

L=300m W=4.5m

- ・ 林道事業（小海町、南牧村）

L=647m W=4.6m

[事業費]

町道改良事業	30,000 千円（うち、交付金 15,000 千円）
林道事業	32,640 千円（うち、交付金 16,320 千円）
合計	62,640 千円（うち、交付金 31,320 千円）

（ 5 - 3 ） その他の事業

地域再生法による特例の措置を活用するほか、【ふるさと「八ヶ岳」観光ルート再生計画】を達成するため、以下の事業を総合的かつ一体的に組み合わせる。

まちづくり交付金事業の活用による整備

町村道改良、公園、地域生活基盤施設、駐車場、高次都市施設、公営住宅等整備事業等の実施により、豊かな自然や文化・歴史を生かした魅力ある施設を整備し、効果的で効率的なまちづくりを目指す。

地球温暖化防止の森林整備活動

NPO 法人との共同参画により、林床整備、除間伐を行うことにより健全な森林を形成する。治山治水・地球温暖化防止を目的により実施します。

グリーンツーリズムによる作業体験

地域の自然や文化、農業、山菜、きのこ狩り等の体験を通し、住民との交流を図り誘客に努める。

・ 自然体験観察、伝統文化歴史探訪、日本最高所の温泉探訪、農業体験、森林体験等を実施します。

再生ルートを活用したイベントの開催

夏の 100km のウルトラマラソン及び氷上トライアスロン大会には、全国から毎年約 2,000 人の選手等がエントリーし実施しているが、参加者から競技のしやすいコース整備の要望と、観光客からアクセス道路の整備が求められているため、道路ネットワークの整備を図り誘客の促進を図る。

6 計画期間

平成 17 年度～ 19 年度

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画終了時に、4 に示す数値目標に照らし状況を各事業実施主体が調査、評価し、公表するとともに、関係行政機関と地元住民からなる「地域再生協議会」を開催し、達成状況の評価、改善すべき事項の検討等を行うこととする。

- 8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項
該当なし